



日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作
ニュース 特別号



当選から3ヶ月 公約実現に向けて頑張りました



今年もがんばります

10月の補欠選挙で皆さんに押し上げていただき、はや三ヶ月。この三ヶ月間私は選挙中訴えた③つの公約の実現に向けて一生懸命頑張ってきました。

公約①「高齢者・障害者を守る緊急対策の実施」

11月26日、私も参加し区議団で濱野区長に「07年度予算要望書」を提出。住民税増税に連動して上がった介護保険料を元に戻すこと、独自の負担軽減策の実施を含む105項目にわたる申し入れを行いました。今年はサラリーマンの定率減税が全廃。それ以外にも更なる増税・負担増が狙われています。「国の悪政の防波堤」としての役割を自治体がしっかり果たしていくことが求められており、今後も全力を尽くします。

公約②「若者の雇用・未来を守る」

私は第四回定例議会の「初」一般質問「品川区はワーキングプアの解消に力を注げ」でこの問題を正面から取り上げ、区の姿勢をただしました。区は若者を中心とした雇用問題について「取り組むべき重要課題」と答弁。またこのところ、これまで「成果」と誇ってはばからなかった職員削減・非正規雇用への置き換えによる「財政効果」（経費節減額）も口にできなくなるなど、区の姿勢にも変化が現れ始めています。「ワーキングプア」は深刻な社会問題です。自らの四年の派遣労働の経験も踏まえ、これからも引き続き追求します。

公約③「税金での飲み食い禁止!!区議会でのルールにします」

「税金による飲み食いは許さない」と公約した私の当選と、選挙中に盛り上がった区民世論の圧力によって「政務調査費あり方検討会」が選挙後すぐに発足。「検討会」内での共産党区議団の奮闘とも合わせ、政調費による飲食を全面禁止する条例改正が実現しました。これまで「使途基準に『飲食費』と書いてあるから問題ない」と無反省の態度をとってきた自民党。そうした言い逃れもいっさい許れなくなります。区民の良識の完全勝利、公約が実現することになりました。「声を上げれば政治は動く」このことを皆さんと共に確信にしたいと思います。

実感できない「景気回復」、度重なる増税と負担増。政治の役割が今ほど問われていることはありません。①区民の声が届く区政②格差や貧困をただす区政③公正・透明な区政 実現のため、今年も力を合わせましょう!!

同じ文教委員会では、臆せず自分の意見を言うところは立派だと思えます。委員会は、臆せず自分の意見を言うところは立派だと思えます。補欠選直後、自らの派遣労働の経験を本会議場でぶつけ、不安定雇用解決を求めたことも圧巻でした。安藤議員と力を合わせ、残された3ヶ月間任期をがんばりたいと思います。

同じ文教委員会では、臆せず自分の意見を言うところは立派だと思えます。委員会は、臆せず自分の意見を言うところは立派だと思えます。補欠選直後、自らの派遣労働の経験を本会議場でぶつけ、不安定雇用解決を求めたことも圧巻でした。安藤議員と力を合わせ、残された3ヶ月間任期をがんばりたいと思います。

同じ文教委員会では、タッグ組み取り組む



沢田英次区議 (8期)

新春のつどい
2月4日(日) 12時～
会場：大崎第一地域センター
(昔、荏原青果市場があった場所です)
おいしいお料理、賑やかな出し物等を楽しみながら皆で元気に新年の政治を考えましょう!!

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ32歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。